

「第 28 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成 28 年 3 月 12 日に開催した「第 28 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 28 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)
出席者	県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、 中門 吉松、森本 正信
開催日時	平成 28 年 3 月 12 日 (土) 10:00~15:00 ※同日開催「成長の森植樹会」で実施。
開催場所	県立 21 世紀の森 (南足柄市内山 2870-5)
内 容	<p>1 開催趣旨 個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源として実施する水源環境保全・再生に係る取組・成果について、情報提供等を行うことを目的に実施した。</p> <p>2 開催内容 (1) 県立 21 世紀の森 森林館内 ・展示物の紹介・解説 ・クイズの実施 (2) 屋外ブース内 ・体験教室（葉巻笛作り） ・クイズの配布・回収（クイズ回答者へわたあめ・コーヒー等を贈呈） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・各種広報資料の配布（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」※植樹会受付時に参加者へ配布）</p> <p>3 来場者数 184名 (成長の森植樹会参加者数 396名)</p> <p>4 開催効果 「成長の森植樹会」へ参加した家族に対して、21 世紀の森 森林館内の展示内容に基づき、神奈川県の水源地環境保全・再生の取組について PR することができた。</p> <p>5 主催者 水源環境保全・再生かながわ県民会議 ・県民フォーラムチームメンバー 5 名が森林館の展示案内やもり・みずカフェブースの運営を行った。</p>
特記事項	

※ 次頁に当日の様子（写真）を掲載

参考（当日の様子）



参加者への声かけ



参加者への声かけ



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



森林館案内



森林館案内



しずくちゃんによるPR



しずくちゃんによるPR

第28回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム 感想

平成28年3月12日開催

1	びっくりした
2	スギが50年がかりで大きくなるのかと思いました
3	とてもリアルな展示でした
4	むずかしい！
5	しずくちゃんかわいい
6	クイズというのを意識して、意外とボードの内容をしっかりと読んでしまった
7	通り過ぎていましたが、イベントを聞き立ち寄りしました。素晴らしい所でした。また来ます！
8	近くに居ながらはじめて来ました。素晴らしい所です、また来ます
9	楽しかった
10	水と森、生き物のつながりを改めて学ぶことができました
11	勉強になった
12	面白かった
13	勉強になった
14	たのしかったです
15	いろいろなことがわかってよかった。たのしかった
16	水、木、シカについての説明とても興味深かったです
17	Q3は下草狩りですね
18	シカすごい！！
19	富士山すごい！！
20	シカがすんでいるのにびっくりした
21	林道の整備とシカの流通方法の改善の必要性。日本の林業がうまく活性化していく方法を私達も考えなければと思った
22	楽しかった。孫が大きくなったら家族みなで来ます
23	シカが5kgも食べるなんてびっくりした
24	全て初めて知った

「第 29 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成 28 年 4 月 29 日に開催した「第 29 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 29 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)
出席者	県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、 中門 吉松、西 寿子、森本 正信
開催日時	平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）10:00～15:00 ※同日開催「四季の森公園まつり」で実施。
開催場所	県立四季の森公園（横浜市緑区寺山町 291）
内 容	<p>1 開催趣旨 個人県民税の超過課税（水源環境保全税）等を財源として実施する水源環境保全・再生に係るこれまでの取組・成果について情報提供・発信等を行うことを目的に実施した。</p> <p>2 開催内容</p> <ul style="list-style-type: none">・水源施策紹介パネルの展示・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）・アンケートの実施・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布 等 <p>3 来場者数（アンケート収集数） 182名</p> <p>4 開催効果 「四季の森公園まつり」へ参加した県民に対して、神奈川県の水源環境保全・再生の取組についてPRすることができた。</p> <p>5 主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議 <協力>（特非）四季の森里山研究会 ・（特非）四季の森里山研究会協力のもと、県民フォーラムチームメンバー6名がもり・みずカフェブースの運営を行った。</p>
特記事項	

※ 次頁に当日の様子（写真）を掲載

参考（当日の様子）



会場の様子



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



パネル展示



もり・みずカフェブース



しずくちゃんによるPR

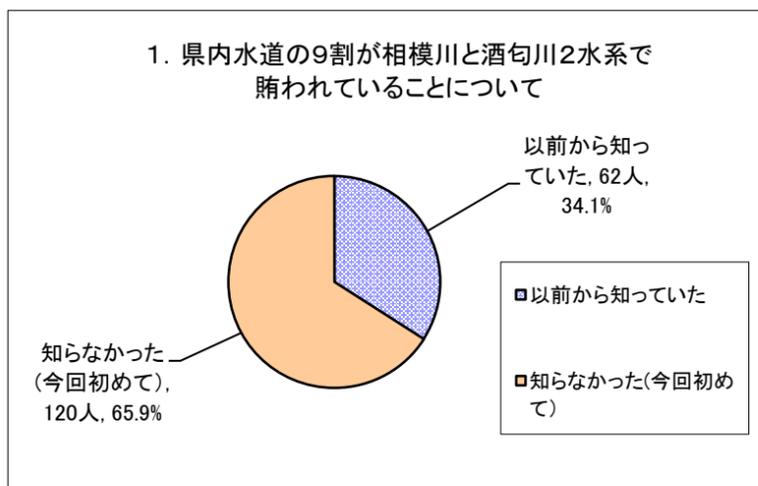


しずくちゃんによるPR

第29回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ) アンケート集計結果

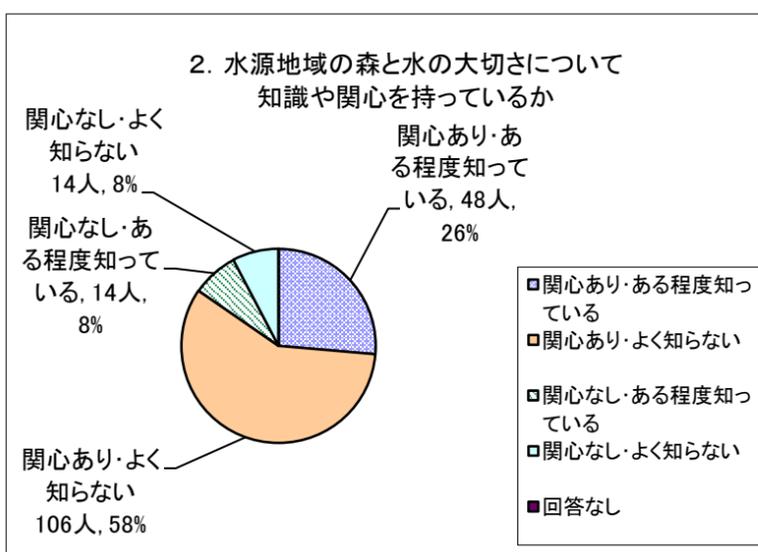
1. 県内水道の9割が相模川と酒匂川2水系で賄われていることについて

以前から知っていた	62人
知らなかった(今回初めて)	120人
	182人



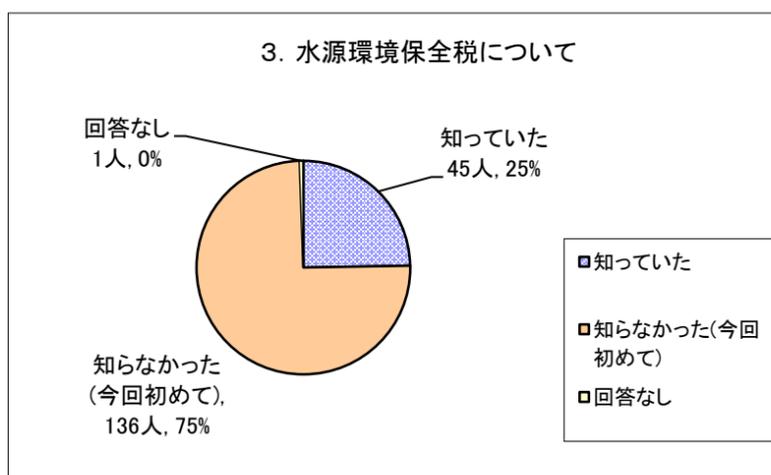
2. 水源地域の森と水の大切さについて知識や関心を持っているか

関心あり・ある程度知っている	48人
関心あり・よく知らない	106人
関心なし・ある程度知っている	14人
関心なし・よく知らない	14人
回答なし	0人
	182人



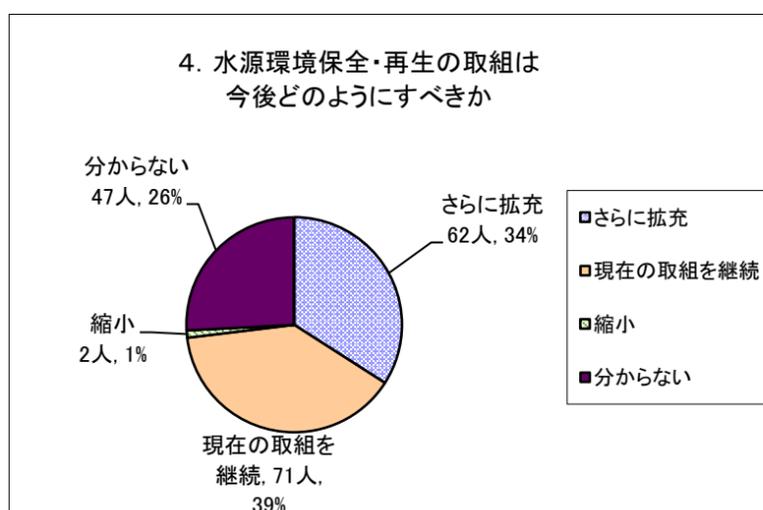
3. 水源環境保全税について

知っていた	45人
知らなかった(今回初めて)	136人
回答なし	1人
	182人



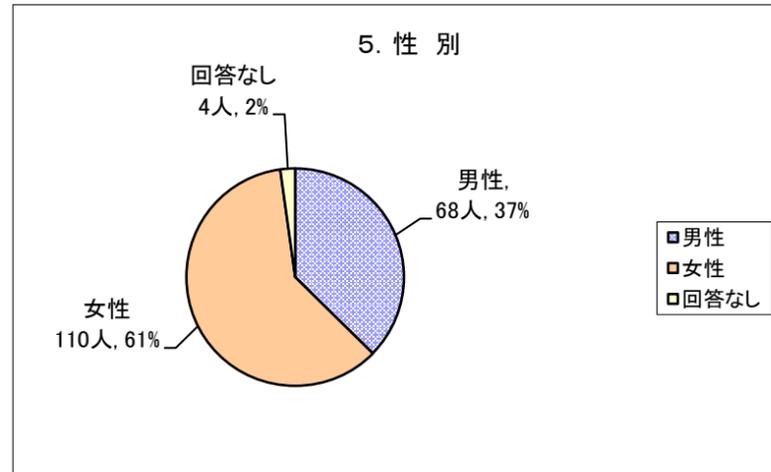
4. 水源環境保全・再生の取組は今後どのようにすべきか

さらに拡充	62人
現在の取組を継続	71人
縮小	2人
廃止	0人
分からない	47人
その他	0人
回答なし	0人
	182人



5. 性別

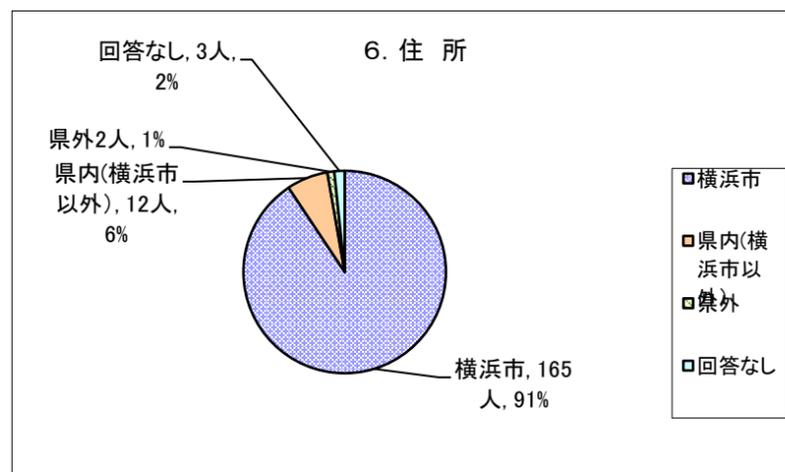
男性	68
女性	110
回答なし	4
	182



6. 住所

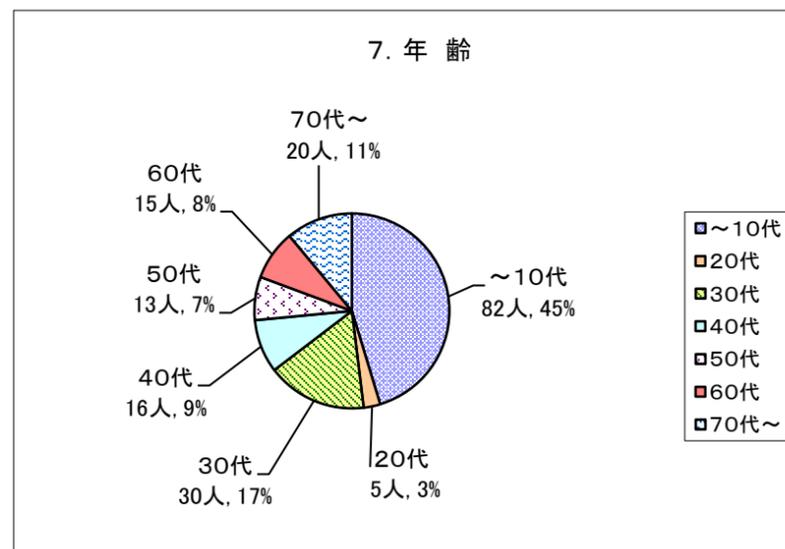
横浜市	165人
県内(横浜市以外)	12人
県外	2人
回答なし	3人
	182人

県内(横浜市以外)内訳	
川崎市	4名
相模原市	2名
藤沢市	3名
大和市	2名
座間市	1名



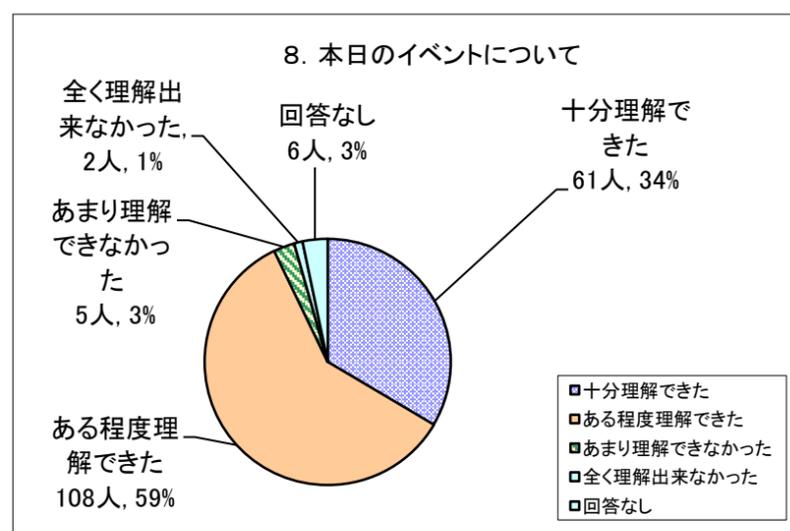
7. 年齢

～10代	82人
20代	5人
30代	30人
40代	16人
50代	13人
60代	15人
70代～	20人
回答なし	1人
	182人



8. 本日のイベントについて

十分理解できた	61人
ある程度理解できた	108人
あまり理解できなかった	5人
全く理解出来なかった	2人
回答なし	6人
	182人



■ 水源環境保全・再生の取組に関する意見・感想

- ・水源環境を守ってくれている人がいることを初めて知り、とても役に立ちました。(～10代・男性)
- ・普段自分が使っている水がどこから来ているか、考えたこともなかったし、知りませんでした。学校などで学べるといいなと思います。(～10代・女性)
- ・お水を大切に使いたいです。(～10代・女性)
- ・家庭で使う水も節約しなくてはと思います。(70代～・女性)
- ・水は大事だと思います。(～10代・男性)
- ・頑張ってください。(～10代・女性)
- ・動物のことなら知ってます。(～10代・男性)
- ・これからも水源環境保全にがんばってください。(30代・女性)
- ・一人一人の活動が必要。(～10代・男性)
- ・水の大切さを再認識しました。(不詳・女性)
- ・水のため皆様が大変力を添えてくださってありがとうございます。(70代～・女性)
- ・重要な内容だと思います。(40代・男性)
- ・自然を生かし、よいサイクルを作って欲しい。水はおいしく満足しています。(60代・女性)
- ・水源の大切さがよく分かりました。さらに詳しく勉強してまいりたいと思いました。(60代・男性)
- ・あまり知らなかった。(～10代・男性)
- ・知らなかったことが知れたし、このことを活かしてこれからも水を大切にしたいです。(～10代・女性)
- ・保全・再生の取組はとてもよいことだと思いました。(～10代・男性)
- ・水の大切さを感じております。これからもよろしく願いいたします。(70代～・女性)
- ・このことを活かして水を大切にしていきたいです。(～10代・女性)
- ・ご苦労様です。(70代～・女性)

「第30回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成28年5月22日に開催した「第30回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第30回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)
出席者	県民フォーラムチーム 坂井 マスミ、西 寿子、前田 裕司、森本 正信
開催日時	平成28年5月22日(日) 10:00~14:00 ※同日開催「緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2016in おだわら」で実施。
開催場所	小田原市荻窪(辻村植物公園隣接地)
内 容	<p>1 開催趣旨 個人県民税の超過課税(水源環境保全税)等を財源として実施する水源環境保全・再生に係るこれまでの取組・成果について情報提供・発信等を行うことを目的に実施した。</p> <p>2 開催内容</p> <ul style="list-style-type: none">・クイズの実施(クイズ回答者へは記念品を贈呈)・水源施策紹介パネルの展示・各種広報資料の配架(リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう!かながわの森と水」等)・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出・しずくちゃんグッズ(マグネット、ボールペン等)の配布 等 <p>3 来場者数(クイズ回答者数) 162名</p> <p>4 開催効果 「緑の祭典」へ参加した県民等に対して、神奈川県の水源環境保全・再生の取組についてPRすることができた。</p> <p>5 主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議</p> <ul style="list-style-type: none">・県民フォーラムチームメンバー4名がもり・みずカフェブースの運営を行った。
特記事項	

※ 次頁に当日の様子(写真)を掲載

参考（当日の様子）



会場の様子



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



しずくちゃんによるPR



しずくちゃんクイズ



しずくちゃんによるPR

第30回県民フォーラム（もり・みずカフェ）しずくちゃんクイズ 感想

平成28年5月22日開催

1	わかったよ。
2	このクイズはなかなか良い。
3	楽しかった！Q10までやってみたい！
4	簡単だった。 ※2件
5	勉強になりました。 ※4件
6	初めて知りました。水の缶、美味しかったです。
7	難しかった。 ※4件
8	楽しかった。 ※3件
9	水の大切さを今日始めて知りました。私達は水が無いと生きていられないので、水を大切にしたいです。
10	飲んでいる水がどこからきて、どこまで広がっているのかを認識し、水の大切さを考えることができました。ありがとうございました。
11	酒匂川が遠い所の水系になっていてびっくり。
12	難しかったけど、勉強になった！！
13	WATER IS THE IMPORTNT IN KANAGAWA !!
14	水源域が広いことがわかりました。
15	知れて良かったです。
16	意外と難しい。知らなかったので子供にも教えたい。
17	思った以上に難しかった。パネルが少し見づらい気がした。
18	神奈川の水のことをよく知れて、とても勉強になりました。
19	当たり前のようにおいしい水を飲んでます。山の大切さですね。
20	知っているようで知りませんでした。
21	神奈川県に供給されている水源が富士山ということに驚いた。
22	面白かった。
23	引っ越してきたばかりでしたので新しい知識を得ました。ありがとうございます。
24	知らないことばかりで勉強になりました。
25	酒匂川のお水が川崎市でも利用されていて驚きました！
26	知りませんでした。
27	暑い日で大変でした。
28	川崎市というのが意外でした。
29	水の大切さを認識した。
30	難しかったです。何も知らないことを再確認。
31	小田原にどう水がきているか分かった。
32	自分の住んでいる所の水のこともしっかり分かったし、他の所のこともしっかり分かった。県内の約9割の人が相模川と酒匂川の水を飲んでいることを始めて知ったからびっくりした。他の地域の水のこともしっかり知りたいと思った。
33	日常飲んでいる水の源が遠いところであることが分かり、意外でした。
34	毎日お世話になっている大事な水のことをあまりにも知りませんでした。これからも大切にしていきたいと思います。今日はいい機会になりました。
35	水源が分かってよかった。

「第 31 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成 28 年 8 月 28 日に開催した「第 31 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 31 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム おしえて・話して！かながわの森と水 in 相模大野
出席者	県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、 中門 吉松、西 寿子、前田 裕司、森本 正信 コミュニケーションチーム 金森 巖
開催日時	平成 28 年 8 月 28 日（日）13:00～16:00
開催場所	小田急ホテルセンチュリー相模大野（相模原市南区相模大野 3-8-1）
内 容	<p>1 開催趣旨 水源環境保全・再生に係るこれまでの取組についての情報提供・発信等を行い、県民の意見を幅広く収集するとともに、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的として開催する。</p> <p>2 開催内容</p> <p>(1) 主催者あいさつ（5分） 水源環境保全・再生かながわ県民会議 森本 正信 委員</p> <p>(2) ミニ講演（講演 25 分×3名） 水源環境保全・再生市民事業支援補助金などを活用して水源環境の保全・再生に取り組んでいる団体の代表者等による講演</p> <p>①「森林ボランティアの抱える楽しみと課題」 山本 和子 氏（森のなかま 会長）</p> <p>②「私が川を守りたい理由」 倉橋 満知子 氏（桂川・相模川流域協議会代表幹事）</p> <p>③「水環境！ワクワク感での伝え」 柳川 三郎 氏（NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会 代表理事）</p> <p>(3) 水源環境保全・再生の取組の紹介（20分） 水源環境保全課 斎藤 水源環境保全企画担当課長</p> <p>(4) パネルディスカッション（50分） テーマ「県民一人ひとりにできること」 コーディネーター：水源環境保全・再生かながわ県民会議 北村 多津一 委員 パネリスト：ミニ講演 講師陣</p> <p>[その他] 会場ロビー部分では市民事業団体の活動紹介等を実施</p> <p>3 来場者数 70名 ※アンケート回収数39枚</p> <p>4 開催効果 ・ミニ講演では、3名の講師の方から講演いただき、それぞれの現場での取組状況などを情報提供することができた。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・水源環境保全・再生の取組の紹介では、本県がこれまでに行った取組と成果を紹介するとともに、第3期実行5か年計画で取り組む予定の新たな課題への対応や、県民・市民団体等との協働・連携事業について説明を行うなど、本県の水源施策の取組状況等について情報発信を行うことができた。 ・パネルディスカッションでは、パネリストが身近な事例を中心に「県民一人ひとりにできること」をテーマに討論を行い、参加者に水源環境の保全・再生のために何ができるのかを考えるきっかけとしてもらうことができた。 <p>5 主催者 水源環境保全・再生かながわ県民会議 ・公募委員8名が受付や案内などの会場運営及び司会進行等を担当した。</p>
特記事項	

※ 次頁に当日の様子（写真）を掲載

参考（当日の様子）



県民会議 森本委員 主催者あいさつ



山本氏 講演



倉橋氏 講演



柳川氏 講演



取組紹介 齋藤企画担当課長



パネルディスカッション



会場内の様子



市民事業活動紹介

第31回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム アンケート結果

平成28年8月28日(日)

小田急ホテルセンチュリー相模大野

【アンケート集計結果】

◎回収枚数 39枚

【回答者情報】

◎居住地 県内 38 県外 1 回答なし 0

(内訳)

県内 : 横浜市(7)、川崎市(3)、相模原市(13)、鎌倉市(1)、藤沢市(2)、小田原市(1)
茅ヶ崎市(1)、秦野市(1)、厚木市(2)、大和市(1)、伊勢原市(2)、座間市(3)
大井町(1)

県外 : 東京都(1)

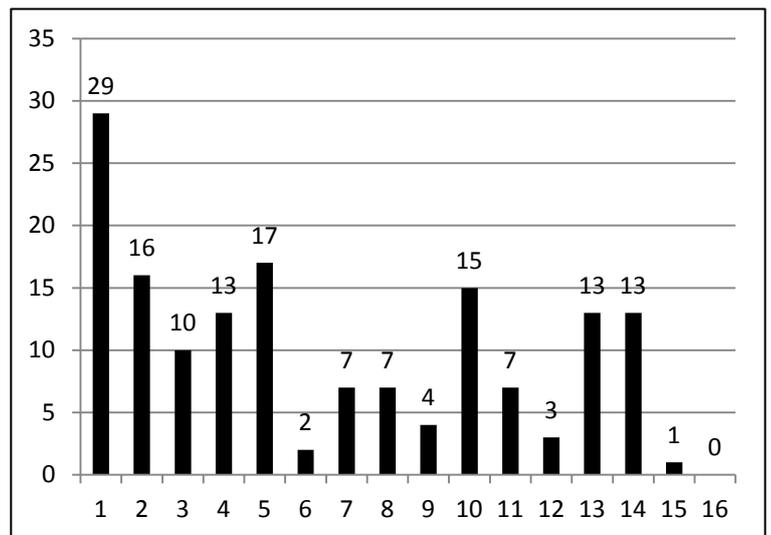
◎性別 男性(24)、女性(10)、回答なし(5)

◎年齢(複数名回答者有)

～10代(0)、20代(5)、30代(0)、40代(2)、50代(4)、60代(12)、70代(13)、80代(2)、回答なし(1)

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか(複数回答可)

1	森林の保全	29
2	森林の多面的機能の発揮	16
3	林業の振興	10
4	木材の利用	13
5	生態系の保全	17
6	渇水への対応	2
7	水害や土砂災害への対応	7
8	気候変動による水循環への影響	7
9	ダム湖の水質	4
10	河川の水質	15
11	地下水の保全	7
12	水辺空間の保全・創出	3
13	市民活動の促進	13
14	水源環境の保全に関する理解・教育促進	13
15	その他	1
16	回答なし	0

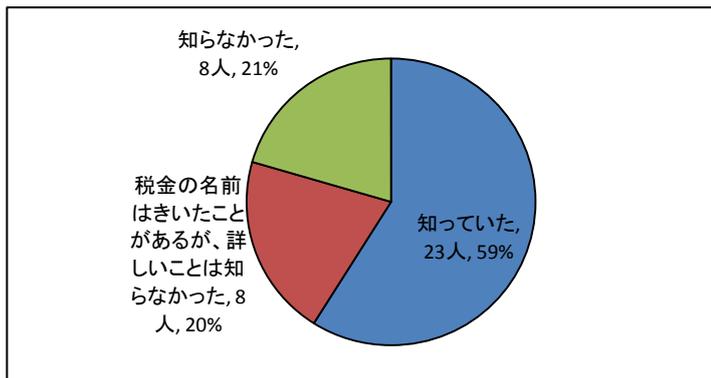


【その他の回答】

水源環境保全税の制度、仕組み

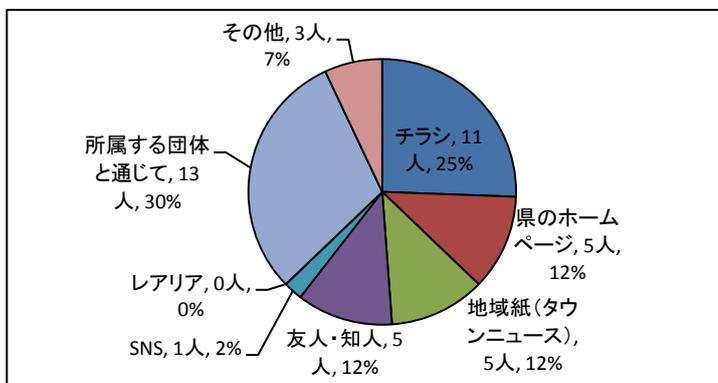
Q2 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

1	知っていた	23
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	8
3	知らなかった	8



Q3 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。(複数回答有)

1	チラシ	11
2	県のホームページ	5
3	地域紙(タウンニュース)	5
4	友人・知人	5
5	SNS	1
6	レアリア	0
7	所属する団体を通じて	13
8	その他	3

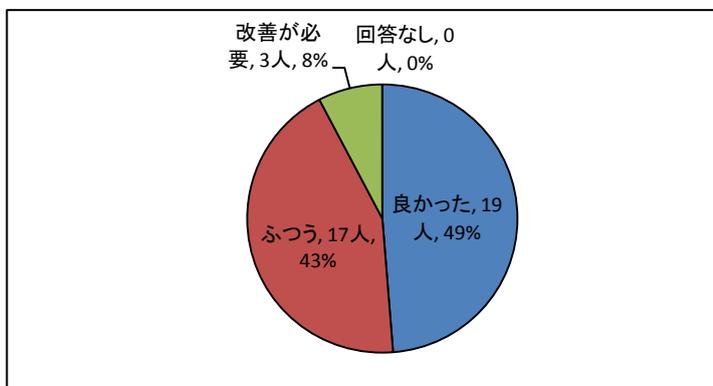


【その他の回答】

大学の掲示板	1
小田原市役所、藤沢市役所の環境保全部署	1

Q4 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。

1	良かった	19
2	ふつう	17
3	改善が必要	3
4	回答なし	0



【良かった理由】

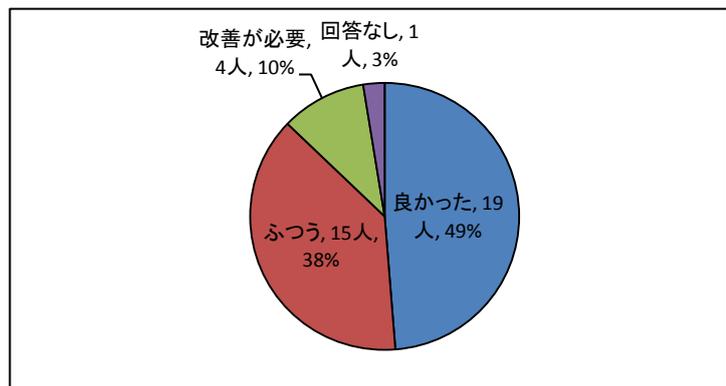
- ◎ 知らなかった事が分かった
- ◎ 暑中、ゆったりした会場で落ち着いて講演を聞くことができた
- ◎ 活動の実践例が聞けて良かった
- ◎ 森林や河川などの環境保全の実績や目標が分かったから

【改善が必要な理由】

- ◎ ミニ講演会の話に盛り上がらなかったようだ
- ◎ もっと多くの方が知り得る必要を感じました
- ◎ 出演者の増
- ◎ 開催の周知不足。会場(ホテル)入口に案内板なし。公共施設を使わなかったのは何故？
- ◎ ただ、関心のある方が参加しているのであって、もっと大衆にアピールするのに何が必要か考える事も！
- ◎ 会場、一般の方が入りやすい場所が良いと思う

Q5 今回の県民フォーラムの企画内容について

(1) ミニ講演		
1	良かった	19
2	ふつう	15
3	改善が必要	4
4	回答なし	1



【良かった理由】

- ◎ 講演の時間は各30分位でちょうど良かったです
- ◎ それぞれの団体の取組が良く分かりました
- ◎ 水源環境の大切さを知りました
- ◎ 各団体の活動内容がわかった
- ◎ 実体験をふまえた内容
- ◎ 今まで知らなかった事も分かった
- ◎ 皆さん要点をしぼった内容で理解しやすかった
- ◎ 神奈川県の水環境を保全するための団体活動の紹介が分かりやすかった

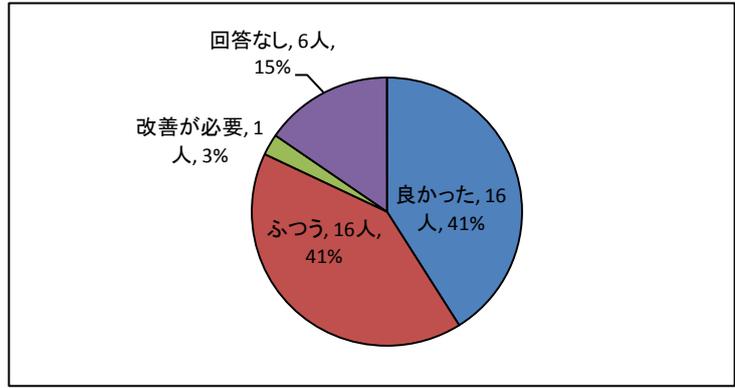
【改善が必要な理由】

- ◎ 一部発表者の声量が小さく聞き取りにくかった
- ◎ ローカルな話題は都市中央部で話し、もっと中央部で問題になっていることを情報として欲しい
- ◎ 時間が長かった

講師はどのような基準で選ぶのか？スピーチ時間配分を厳格にせよ(かなりのバラつきがあった)

- ◎ 山本さん: 話が整理されていて聞き取りやすかった
- ◎ 倉橋さん: 声が小さすぎて聞き取れなかった
- ◎ 柳川さん: 話のつながりがなく何を言っているのかわからなかった
- ◎ 水環境の保全のために森林の整備や生活排水の流入の防止が挙げられるが、一歩踏み込んだ対策が必要と思われる

(2) 施策の取組紹介		
1	良かった	16
2	ふつう	16
3	改善が必要	1
4	回答なし	6

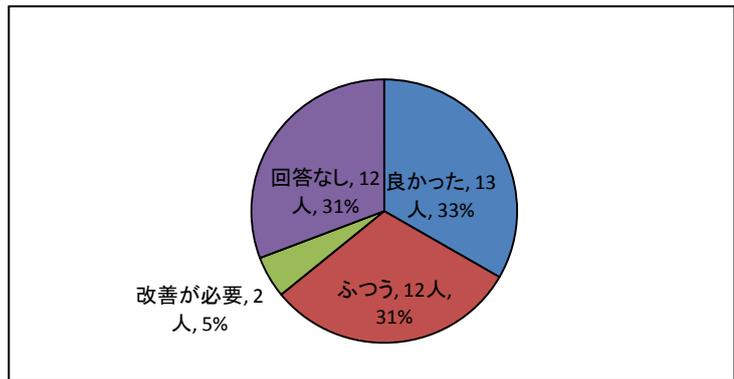


【良かった理由】

- ◎ スコリア流出の取組、シカ対策を広げたこと。情報としてよかった
- ◎ 現在の取組、今後について良く理解出来ました
- ◎ わかり易い説明でした
- ◎ 事業内容が理解できた
- ◎ 森林や土壌や水源に関する現物の展示があり、実物をふれられた

【改善が必要な理由】 記入なし

(3) パネルディスカッション		
1	良かった	13
2	ふつう	12
3	改善が必要	2
4	回答なし	12



【良かった理由】

- ◎ 具体的な話が聞けてよかった
- ◎ 各団体の活動がより具体的
- ◎ 具体的な活動の指針があった
- ◎ コーディネーターの質問がとてもわかり易くて良かった
- ◎ 県市町の森林や河川の関連のお話、県の環境保全センター、市民団体、NPOに興味を持てたから

【改善が必要な理由】

- ◎ 司会、マイクの音が悪く聞き取りにくい
- ◎ 意見交換が少なく、パネラーとコーディネーターからの一方的な情報提供のみであった。県民参加というなら、参加者の声をどの様に取り上げていくのかが必要と感じました

Q6 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想等をお聞かせください。

回答を希望される場合は、「回答を希望する」にチェックをつけてください。

回答は後日県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

ご意見・ご感想の内容を下記番号より選び、記載してください。(複数選択可)

①森林関係、②水関係、③県民参加、④県民フォーラムの内容・運営、⑤配布資料、⑥その他

【回答を希望する】 0件

【回答を希望しない】 9件

※ 意見番号①

森林の保全を推進する施策で懸念される案件と思える事があり、それは相模原市鳥屋地区では車両基地にされる事をはじめとする「リニア新幹線整備事業」であり、とても環境への悪影響を及ぼす可能性は高いを心配している。環境アセスの手続きを踏んでいるとはいえ予測と実際に整備を行なった後の結果は一致するものとの考えにくい。将来の水源環境をはじめとする持続可能な生活環境保持には、リニア新幹線整備事業の廃止を望む。そもそもこれからの将来は人口減少の一途になるのだから、リニア新幹線の需要は少ないはず。既存の東海道新幹線を耐震工事すれば、充分に交通需要を見得るはず

※ 意見番号③

◎ 県・県民の活動を各市町村と連携をとる様コミュニケーションを深めて欲しい(県指導で)
(もり・みず市民事業)活動地域市町村の理解が不足

※ 意見番号④

◎ 沢山の立派なリーフレット、紙などいつも少し多すぎると思います。内容に対して時間が長く感じました

※ 意見番号⑤

◎ しずくちゃんの間伐材のうちわとたわしが嬉しかったです。各グッズについての紹介プリントがあったのが分かりやすく良かったです

※ 意見番号⑥

「木を使い森を守る水源の森の再生」をキーワードに今年11月で第13回を迎えます。川崎市民に多摩川ではなく、相模川や酒匂川のが水源であること、自分たちの飲料水と水源の森の環境について気づきを与える活動をしています。

◎ 現在、山北・山梨県北杜にどんぐりの木苗を植樹する活動や様々な環境啓発活動をしています。連携や活動資金についてもご支援いただきたい

【水源のパンフ希望(イベントのため)】

◎ 水源環境保全税率0.025%は、他の税制(例えば消費税8%→将来10%以上)が引き上がっても、一定の割合負担にして安定するのか？

県民の超過税率年890円(H24~28年)は、この適用5年間で終了するのか？

※ 意見番号なし

◎ 1.温対協が各市町村にあるはずで、この団体の利用を協同で考えませんか？CO²削減のためには、森林を利用する事大切と考えます。

2.相模原市内の林道開設を早急に実施願います

◎ 水源として山梨県の森林の手入れが大事と考えるが、行政の横断的な取組は可能なのか？
森林資源の利用を考えて場合、民間企業との協働が不可欠と思えるが、どの程度進んでいるのか？進めているのか？

◎ 水源税の使途の大きな部分は、事業者を通じた活動費となっているので、どのような実態の事業者に発注しているのか。また、選定基準とか事業費の査定等がどのように行なわれているのかもオープンにしていく必要があると考えます。

県民参加活動のみの紹介を中心としたPRが情報開示として充分か検討すべきだと思います。水源税は、上乗せ税負担なのでその点この税の使途を県民にオープンにすることが大切と考えます

「第 32 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成 28 年 9 月 3 日、4 日に開催した「第 32 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 32 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）
出席者	県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、 中門 吉松、西 寿子、前田 裕司、森本 正信
開催日時	平成 28 年 9 月 3 日（土）、4 日（日）各日 10:00～17:00 ※同日開催「やまなみ五湖 かながわ水源地域キャンペーン」で実施。
開催場所	アピタ長津田店（横浜市緑区長津田みなみ台 4-7-1）
内 容	<p>1 開催趣旨 個人県民税の超過課税（水源環境保全税）等を財源として実施する水源環境保全・再生に係るこれまでの取組・成果について情報提供・発信等を行うことを目的に実施した。</p> <p>2 開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ・アンケートの実施（クイズ回答者へは記念品を贈呈） ・水源施策紹介パネル、剥製（ツキノワグマ）の展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布 等 <p>3 来場者数（クイズ回答者数） 784名</p> <p>4 開催効果 「やまなみ五湖 かながわ水源地域キャンペーン」へ参加した県民等に対して、神奈川県の水源地環境保全・再生の取組についてPRすることができた。</p> <p>5 主催 水源環境保全・再生かながわ県民会議 ・県民フォーラムチームメンバーがもり・みずカフェブースの運営を行った。</p>
特記事項	

※ 次頁に当日の様子（写真）を掲載

参考（当日の様子）



会場の様子



しずくちゃんクイズの実施



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



もり・みずカフェブース



剥製の展示



しずくちゃんによるPR



会場の様子

第32回県民フォーラム（もり・みずカフェ）しずくちゃんクイズ 感想

平成28年9月3日、4日

アピタ長津田店 開催

1	勉強になりました。*59件
2	易しかった、すぐに分かった。*47件
3	楽しかった、面白かった！*42件
4	難しかった、初めて知りました。*36件
5	知らないことがあり、参考になった。*27件
6	今まで考えた事がなかったので、興味深かったです、為になった。*26件
7	富士山から水がきてるとは知りませんでした。*21件
8	色々なことがわかった。*15件
9	遠くから私たちの所へ来ているんだなと思いました。*10件
10	普段、何も考えずに使っていた水道水に関する事が知れて良かったです。*8件
11	良かった。*8件
12	水の大切さを感じた。*7件
13	どこから水がきたのか知れました。*6件
14	富士山の湧き水が生活の水として使われていることを始めて知った。*6件
15	水について考える事があまりなかったので、今回参加してよかったです。*5件
16	説明が聞けて良かったです、スタッフの説明も良い。*5件
17	毎日飲んでいる水なのに知らなかった。*3件
18	面白いクイズでした。*3件
19	自分が普段使っている水源を知ることが出来て勉強になった。*3件
20	神奈川の水はキレイな所から来ている、美味しい。*2件
21	驚き、すごい。*2件
22	今日、熱海から帰って来る時に酒匂川を通った。*2件
23	普段良く考えなく当然の様に使っている水ですが、自分の住んでいる県だけでなく他の県のおかけ様 が有ると言う事が良く分かりました。
24	難しかったけど勉強になった。
25	相模川の最源流を始めて知りました。
26	普段飲んでいる水が相模川のものとは知らなかった。富士山から来ているのも知らなかった。
27	4問全部正解してうれしかった、富士山から水が来ていて、ビックリ。
28	道志村かと思っていました。
29	水源について興味があったが、よく知らなかった。こういうイベントは良いと思います。
30	道志の源流が富士山とは思わなかった。
31	水源の意外性が楽しかったです。
32	水は山から来ているんだと思いました。
33	知るとお水が美味しく感じます。
34	参加してよかった。
35	学校で教えてもらったけど、改めて私たちが飲んでいる水のことについて知れたので良かった。
36	新しい身近な情報を知ることが出来て良かったです。
37	クイズに参加してまよってばかりでした。

38	良いイベントでした。
39	娘が小4なので、子供の方が良く知っていました。
40	富士山はきれいなだけではなく、私たちの生活にも結びついているんだなあ。
41	こたえがなかった。(東京都町田市在住)
42	町田の水源が分かったので良かったです。
43	(町田市の)水がどこから来るのかよくわからなかった。
44	ゆっくり時間をかけて知りたくなった。
45	意外でした。
46	富士山に行った事がありますが、水が流れていませんでした。
47	横浜の水の素晴らしさをはじめて知りました。
48	酒匂川の水も来ていたのを初めて知ったので勉強になった。
49	質問の意味がよく分からなかった。
50	まだ小3ですが、大きくなってもお水の事を知りたいです。
51	全く知らなかった情報を詳しく説明していただき環境に興味が出てとても良かった。水源環境保全税はもっと市民(県民)が周知しなければならないと思う。
52	水道水が何処を通って届くのかももっと知りたいです。
53	相模川の水が富士山の近くなのがびっくりした。
54	宇宙から見た水のふるさとの写真が初めてだったので、勉強になりました。
55	今度、愛川体験学習で行く前に知っという良かった。
56	学校で調べたより、詳しくわかった。
57	親切でやさしかった。
58	これから自分なりに協力しようと思いました。
59	川の最源流を知る事ができました。
60	神奈川は水に恵まれていると感じた。
61	富士山からこんなに大きく広い地域に水が流れているのだという事に驚きました。
62	水不足にならない様に工夫されている事を知れました。
63	楽しかった、しずくちゃんも可愛かった。
64	毎年来てください。
65	神奈川県が水に強い事が分かって良かった。
66	山中湖→富士山と続くのは意外でした。
67	色々な事が書かれていたり、地図が意外と広かった。
68	少し不安。
69	僕たちが飲んでいる水は多摩川だと思っていたが、酒匂川から来ている事にビックリした。

「第 33 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」結果概要について

平成 28 年 11 月 5 日に開催した「第 33 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」の内容は次のとおりでした。

名 称	第 33 回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム ともに築く水源環境 ～かながわ 910 万人の挑戦～
出席者	主催者あいさつ・コーディネーター 浅枝 隆 パネリスト 鈴木 雅一 県民フォーラムチーム 北村 多津一、倉橋 満知子、坂井 マスミ、 中門 吉松、西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 金森 巖、増田 清美
開催日時	平成 28 年 11 月 5 日（土）13:00～16:10
開催場所	はまぎんホールヴィアマーレ（横浜市西区みなとみらい 3-1-1）
内 容	<p>1 開催趣旨 将来にわたり良好な水源環境を維持するために本県が取り組む施策を県民へ広く周知するとともに、県民と協働して取組を進めていく気運を醸成することを目的として開催した。</p> <p>2 開催内容 (1) 主催者あいさつ（5分×2） 神奈川県副知事 浅羽 義里 水源環境保全・再生かながわ県民会議 副座長 浅枝 隆 (2) 基調講演（講演 70 分） 柳生 博（俳優、公益財団法人日本野鳥の会 会長） 講演テーマ 『確かな未来は懐かしい風景にある』 (3) 水源環境保全・再生施策の紹介（20 分） 水源環境保全課 斎藤 水源環境保全企画担当課長 (4) パネルディスカッション（70 分） テーマ「ともに築く水源環境～かながわ 910 万人の挑戦～」 パネリスト：杉本 貴広（有限会社杉本林業 取締役） 鈴木 雅一（東京大学 名誉教授） 豊田 直之（NPO 法人海の森・山の森事務局 理事長） 山村 宜之（キリン株式会社 CSV 本部 CSV 推進部 主査） コーディネーター：浅枝 隆（埼玉大学大学院理工学研究科 教授）</p> <p>[その他] 会場ロビー部分では次の展示等を実施。 ・市民事業団体による活動紹介 ・森林再生パートナー企業の活動紹介 ・第 38 回「全日本中学生水の作文コンクール」入賞作品の展示 ・神奈川県内広域水道企業団パネル展示 ・パネリスト関連展示 ・水源環境保全・再生施策等の紹介を実施</p> <p>3 来場者数 356 名</p>

	<p>4 開催効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演では、水源環境を守る重要性等について参加者へ訴えることができた。 ・ 水源環境保全・再生施策の紹介では、本県がこれまでに行った取組と成果を紹介するとともに、第3期実行5か年計画で取り組む新たな課題への対応や事業内容など本県が取り組む施策に関する情報を発信することができた。 ・ パネルディスカッションでは、幅広い分野のパネリストによる討論を行うことで参加者へ県の施策への理解促進を図ることができた。 <p>5 主催者</p> <p>神奈川県、水源環境保全・再生かながわ県民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民会議委員8名が受付や案内などの会場運営を担当した。
特記事項	

※ 次頁に当日の様子（写真）を掲載

※ アンケート結果については現在、取りまとめ中

参考（当日の様子）



主催者あいさつ（浅羽副知事）



主催者あいさつ（浅枝副座長）



柳生氏 講演



会場の様子



施策紹介（斎藤企画担当課長）



パネルディスカッション（コーディネーター）



パネルディスカッション（パネリスト）



会場ロビー展示